

～航空局からのお知らせ～

[2026 年 6 月 26 日]

★下層悪天予想図を提供しています～気象庁より～

気象庁では、小型航空機の安全と効率的な運航の支援のため、小型航空機が主に飛行する高度において運航に影響を及ぼす悪天を予想する下層悪天予想図を気象庁ホームページから提供しています。これから本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、本メールマガジンでは下層悪天予想図について紹介いたしますので、今後の運航に役立てていただければ幸いです。

気象庁ホームページの「航空気象情報」のページ：

<https://www.data.jma.go.jp/airinfo/index.html>

下層悪天予想図は、小型航空機の飛行高度を想定し、地上（海上）から高度約 15,000ft までを対象としており、予想する気象要素は次のとおりです。

大型機・小型機に関わらず航空機に影響を与える気象要素：

- 乱気流域とその高度
- 降雨・降雪域
- 発雷域

小型機の運航に特に影響の大きい気象要素：

- 地上の悪視程域
- 雲域と雲頂・雲底高度
- 高度 2,000ft・5,000ft・10,000ft における 0℃ライン（着氷の目安）

主要な地点（飛行場）上空における気象状況：

- 高度別の気象状況（SFC・高度 2,000ft・5,000ft・10,000ft における風向・風速、気温、湿域）
- 雲頂・雲底高度
- 0℃高度

下層悪天予想図では、3 時、6 時、…、21 時、24 時の 3 時間ごとに 3、6、9 時間後を予想（発表は基準となる時刻のおおむね 90 分後）しているため、例えば、朝には、夕方までの大まかな天気の変化、予想がわかります。また、昼夜を問わず作成しますので、夜間の緊急搬送などの運航にも利用することができます。

表示領域は、北海道から沖縄までを 6 つの領域に分けることで、主に小型航空機の操縦士等の方が 1 回で飛行する範囲が 1 つの領域に入り、一目で航空路上の悪天を把握できるようにしてい

ます。

加えて、気象庁では、都道府県単位の領域に細分化した下層悪天予想図（詳細版）も提供しています。発表時刻・回数は下層悪天予想図と同様ですが、9 時間先までを 1 時間間隔で予想します。

下層悪天予想図や下層悪天予想図（詳細版）は、小型航空機の操縦士の方が一目で悪天を把握できるように工夫をしている情報になりますが、以下のように利用にあたっての注意点があります。注意点にご留意の上、安全な運航に役立てていただけますと幸いです。

- ・数値予報モデルを使って自動作成しているため、気象庁が実際に発表する飛行場予報や台風予報等と異なる内容が含まれる場合があります。また、数値予報モデルは大気中の現象をすべて正確に表現・予測できるわけではありません。

- ・雲底・雲頂高度は、フライトレベルで示しており、実際の高度とは異なります。

- ・降水域は 1 時間前からの降水を示しており、雲域はその時刻での予想であるため、降水が予想されても雲が予想されていない場合があります。

- ・複数の層にわたって雲が予想される場合は、最下層の雲のみを表示します。

- ・発雷域の予想と雲域の予想は個別で行っているため、発雷域が予想される場合でも雲域は予想されない場合もあります。

気象庁では今後とも、航空機の安全な運航のため、適切かつ的確な情報発表や提供に努めます。本件についてご不明な点等ございましたら、気象庁総務部企画課航空気象管理室（電話 03-6758-3900 内線 2247）までお問い合わせください。

※メールアドレス変更や配信停止の場合は、お手数ですが本メールに返信する形でご連絡をお願いいたします。

国土交通省 航空局 安全部安全政策課

MAIL : hqt-kogataki@mlit.go.jp

TEL : 03-5253-8111

小型航空機安全対策係（内線 50135）

特定操縦技能審査担当（内線 50136）

～X（旧 Twitter）もやっています～ https://twitter.com/mlit_kogataki
